総合	第６学年	東広島市立西条小学校	指導者　岩本　啓慈

単元名

伝えよう 37 代目へ！

本単元で育成する資質・能力　課題発見力・追求力・評価力

１　単元のデザイン

本単元の目標

自分が学んだオペラ「白壁の街」についての知識や技能，人々の思いを5年生に伝える活動を通して，36 年間の伝統を継承したことに誇りをもつとともに，次代のために自分にできることを考え実践しようとする態度を養う。

児童について

本校では，西条の伝統的な酒造りを題材にしたオペラ「白壁の街」を６年生が代々継承しており，今年度で 36 代目となる。前単元「創り上げよう！私たちのオペラ『白壁の街』」では，それぞれの役をどのように演じるのか，自ら課題を設定し，パートごとに学習計画を立て，協力してオペラを創り上げた。10 月の酒まつりや学習発表会での公演を終えたこの時期，どの児童も充実感に満ち，自らの成長を感じている。そこで，自分達の取組を次代に引き継ぐ取組を行えば，自分にできることを考え，学校や地域への愛着を深められると考え，本単元を設定した。

本単元で身に付けたい資質や能力及び態度

【課題発見力】
- 今までと違った角度からオペラ「白壁の街」を見つめ，価値ある課題を発見する。

【追求力】
- 課題解決への意欲をもち，計画的に情報を集めてまとめる。
- 集めた情報を比較したり，関連付けたり，価値付けたりしながら，５年生に何を伝えるべきかを考える。
- 課題解決のために，他者の考えを受け止めながら協力する。

【評価力】
- オペラ「白壁の街」について，自分の思いや考えの変容，新しく出合った価値観やものの見方等に気付き，オペラを継承することの価値や自分の成長を自覚する。
- オペラ「白壁の街」を継承したことに誇りをもち，それを次代に発展させていこうとする心情をもつ。

教材について

オペラ「白壁の街」は，地域の伝統産業である酒造りを題材にしたもので，酒造りを行う人々の様子や努力，思いを表現する。昭和 56 年，当時の本校職員によって創作され，以来 36 年間，６年生によって継承されている。オペラへの取組は第５学年末から始まり，約９か月間続く。そして，10 月には「酒まつり」で上演し，地域の方々をはじめ，市内外の方々から高い評価を得ている。オペラ「白壁の街」は，本校児童にとってはあこがれであり，６年生になってオペラを演じることを楽しみにしている児童が多い。しかし，一方で，伝統を継承する重責を不安に感じる児童もいる。

歴史あるオペラ「白壁の街」を次代に伝えていくことで，自分達の取組を再度振り返り，本校の伝統を継承したことに誇りをもたせることができる。また，学校や地域への愛着を深めることもできると考える。

指導の手立て

本単元の指導に当たっては，「課題の設定」でオペラ「白壁の街」の取組を終えた感想を交流した後，１年前のオペラに関するアンケート結果を提示し，オペラの取組への不安があったことを想起させる。オペラの公演を終え，達成感に満ちている現在の自分と不安を抱いている１年前の自分を比較させることにより，児童の思いが自然と５年生に向くようにする。そして，自分達は昨年度の６年生にアドバイスをしてもらい，不安が和らいだ経験を想起させ，先輩として「37 代目が希望や意欲をもって取り組めるようにする」という課題を立てる。

「整理・分析」では，「情報の収集」で考えた５年生に伝えておくとよいと思う事柄を検討させる。このとき，アドバイスが５年生に役立つものとなるよう，５年生へのアンケート結果と自分の経験を関連付けて価値付けさせ，何を５年生に伝えるべきかを考えさせる。さらに，時間軸を用いて，いつどのようなアドバイスを行えばよいのかをグループで考えさせる。

「実行」では，「５年生に伝える会」や引継ぎ式を行い，５年生とペアやグループになって，かかわりを深めながらアドバイスを行ったり，踊りを引き継いだりする。そして，「振り返り」で５年生からの感想を紹介することにより，伝統を引き継いだことへの喜びを味わわせる。また，自分のオペラへの取組について改めて振り返らせ，自己の成長を自覚させるとともにオペラ「白壁の街」の価値を再認識させる。

2　単元の評価規準

資質・能力		評価規準
課題発見力	課題を発見する	①今までと違った角度からオペラ「白壁の街」を見つめ，価値ある課題を発見している。 ②課題解決までの見通しをもち，学習計画を立てている。
追求力	課題解決に向けて情報を収集する	①37 代目が希望や意欲をもって取り組めるようにするために，伝えるとよいと思う事柄を進んで考えている。
	思いや願いの実現に向けて，思考スキルを用いて課題を解決する	②自己の経験と関連付けたり，互いの考えを比較したりして価値付け，いつ頃，どのような内容を５年生に伝えるべきかを考えている。 ③５年生に分かりやすく，心に残るアドバイスとするために，様々な情報を比較したり，関連付けたりして価値付け，伝える方法・取り上げる経験・使う言葉などを決め，まとめている。
	課題解決のために人とかかわる	④課題解決のために，友達の考えを受け止めながら話し合っている。 ⑤課題解決のために，積極的に５年生にかかわっている。
評価力	自分の学びを振り返る	①オペラ「白壁の街」について，自分の思いや考えの変容等に気付き，オペラを継承することの価値や自分の成長を自覚している。
	対象（地域）の良さを自覚する	②オペラ「白壁の街」を継承したことに誇りをもち，それを次代に発展させていこうとする心情をもっている。

3　単元構想図（単元計画と評価）

本単元の学習の流れ（全 15 時間）

〇伝えよう 37 代目へ！（15）

課題の設定

・オペラ「白壁の街」の感想や１年前のオペラに対する思いを交流し，課題を設定する。（１）【課①】

・５年生にどのような方法で伝えるかを話し合い，学習計画を立てる。（１）【課②】

情報の収集

・５年生に伝えるとよいと思う事柄を考える。（１）【追①】

整理・分析

・いつ頃，どのような内容を５年生に伝えるべきかをグループで考える。（１）【追②】

本時４／15

独創スピリッツを引き出す工夫

【課題の設定】

・オペラ「白壁の街」の取組を終えた感想を交流した後，１年前のオペラに関するアンケート結果を提示し，オペラの取組への不安があったことを想起させる。また，昨年度の６年生が自分達にアドバイスをしてくれ，不安が和らいだことなども想起させ，先輩として「37 代目が希望や意欲をもって取り組めるようにする」という課題を立てる。（課題発見力）

【情報の収集】

・前単元「創りあげよう！私たちのオペラ『白壁の街』」での取組を写真を見ながら想起させ，５年生に伝えておくとよいと思うことを付箋に書き出させていく。（追求力）

【整理・分析】

・５年生へのアンケート結果と自分の経験を関連付けて５年生で何を伝えればよいのかを価値付けさせる。（追求力）

・時間軸を用いて互いの考えを比較しながら，５年生に伝えるのに効果的な時期を考えさせる。（追求力）

まとめ・創造・表現

・「５年生に伝える会」に向けて，グループごとに分かりやすく伝える方法を検討し，まとめる。　（３）【追③④】

実行

・「５年生に伝える会」を開催し，５年生にアドバイスをする。（２）【追⑤】

・引継ぎ式を行う。　（２）【追⑤】

整理・分析　実行

・その他の時期に伝えたらよい事柄について，来年度の６年生に手紙を書く。　（３）【追③】

振り返り

・単元の学習や６年間の地域を対象とした学習を振り返り，西条小や西条の町への思いを話し合う。　（１）【評①②】

【まとめ・創造・表現】
・５年生に分かりやすく，心に残るアドバイスとするために，伝える方法，取り上げる経験，使う言葉などの検討をさせてからまとめさせる。　（追求力）

【実行】
・５年生とのかかわりを深めるよう，ペアやグループになって，アドバイスをしたり，踊りを引き継いだりさせる。（追求力）

【整理・分析】【実行】
・本単元の第４時に，時間軸を活用して検討した５年生に伝えるべき事柄を基に，適切な時期と内容であるかを再検討し，手紙を書かせる。　（追求力）

【振り返り】
・５年生からの感想を紹介し，伝統を引き継いだことへの喜びを味わわせる。また，自分のオペラへの取組について改めて振り返らせることにより，自己の成長やオペラ「白壁の街」の価値を自覚させる。　（評価力）
・６年間の地域を対象とした学習を画像と共に振り返り，西条小や西条の町のよさ，自分の思いを話し合わせ，地域への愛着を深めさせる。　（評価力）

４　本時の目標

自己の経験と関連付けたり，互いの考えを比較したりして価値付け，いつ頃，どのような内容を５年生に伝えるべきかを考えることができる。

５　本時の展開

学習過程

展開	主な学習活動〔主な児童の思考の流れ〕	形態	教師の働きかけ ◎評価規準　◇配慮を要する児童への手立て
つかむ	１　本時の目的を確認し，本時の学習課題を設定する。　（５分）	全体↓	・22％の５年生が不安や自信のなさから意欲をもてていないことが分かるアンケート結果を示し，課題へつなげる。
	学習課題　アンケート結果と自分の経験を関連付けて，５年生に伝えるべき事柄を考えよう。		
／ 深め・拡げる	２　ワークシートと付箋を使って個人思考する。　（10 分） ・白壁をやりたくない５年生が 22％もいる。ぼくも心配だったな。だから，白壁で成長したことを話そう。 ・「やりたい役になれないかもしれない」と心配している５年生がいる。オーディションに向けてどうすればいいのかが分かれば，心配が少しは解消されるかもしれない。オーディションに向けての練習や心構えについて伝えよう。 ・蔵人の動きのアドバイスをしようと思ったけれどみんなが蔵人になるわけではないから，どの役にも役立つような内容がいいな。	個人↓	追求力引き出しポイント 〈活用させる思考スキル：価値付け〉 ・アンケート結果と自己の経験を関連付けさせたり，予め考えていた５年生に伝えるとよいと思う事柄を比較させたりして，５年生に伝えるべき事柄を決めさせる。 ・アンケート結果の中で，自己の経験と関連付けた項目に印を付けさせ，自分の考えの根拠とさせる。 ◇オペラ「白壁の街」の取組の写真を提示し，対話を通してこれまでの経験を想起させる。

深め・拡げる

3　グループでいつ頃，どのような事柄を伝えるのかを話し合う。　（17 分）

本気で考える児童の姿

・いつ頃，どのような事柄を伝えることが５年生のためになるのかを考え，真剣に討議している。

おおむね満足できる児童の状況

・12 月から卒業式までの間に，踊りや歌を教えるといいと思うよ。ぼく達のときは，ＤＶＤやＣＤを使って自分で研究して覚えたけれど，６年生から教えてもらった方がよく分かると思うよ。

・踊りや歌を教えるのもいいけど，それよりも，その時期は，白壁に取り組んでこんなに成長したんだという自分の経験を伝えた方がいいよ。だって，白壁をすることに自信がない人が 22%もいるんだから，その不安をとってあげる方がいいよ。

グループ

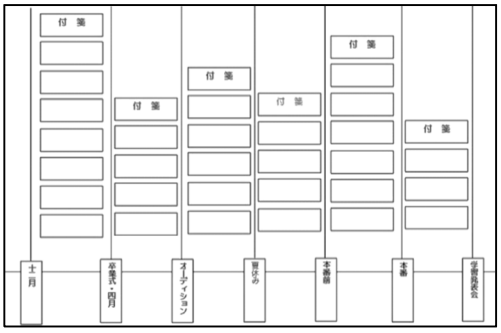
↓

追求力引き出しポイント

〈活用させる思考スキル：価値付け〉

・時間軸を活用し，互いの考えを比較しながら，いつ頃，どのような事柄を伝えるのかを話し合って決めさせる。

・一つの時期に伝える事柄は二つまでとし，取捨選択する必要性をもたせる。



◇必要に応じて，グループの話合いに加わり，助言する。

◎自己の経験と関連付けたり，互いの考えを比較したりして価値付け，いつ頃，どのような内容を５年生に伝えるべきかを考えている。

（グループのワークシート，児童観察）

・自分達のグループの内容と比較しながら聞かせる。

・他のグループの考えを聞いて参考にしたいことは，次時の初めに話し合うようにする。

／

まとめ・つなげる

4　各グループの考えを全体で交流する。　（10 分）

・白壁のことをアドバイスすることばかりを考えていたけれど，○班の考えを聞いて，日常で当たり前のことを当たり前にすることが，白壁での役割を果たすことや表現につながることを伝えておかなければいけないと思いました。

全体

↓

5　本時の学習をまとめ，次時につなげる。　（３分）

全体

・振り返りカードに本時の学習感想を書かせる。

・次時からは，「５年生に伝える会」に向けて準備をしていくことを確認する。